

ねりまつうしん

ねんなつごう
2024年夏号

たげん ごじょうほう しえんいん ちゅうごくごたんとう
多言語情報支援員(中国語担当)

さとう ゆきえ
佐藤 雪恵

たんごせつ 端午節

はる お なつ ちゅうごく なつ じゅうよう
春が終わり、夏がやってきました。中国では夏になると、もっとも重要
しゅくじつ むか たんごせつ まいとしきゅうれき がついつか さだ
な祝日を迎えます。それは端午節です。毎年旧暦の5月5日に定めて
しゅんせつ ちゅうしゅうせつ なら ちゅうごく さんだいでんとうせつ
います。春節、中秋節と並び、中国の三大伝統節句とされてい
ます。端午節は「端陽節」、「午日節」「夏節」などともよばれ、疫
たいさん やくよ なつ せつ おも たんごせつ
病退散や厄除けのための夏の節句として重んじられてきました。端午節に
かん だんせつ いろいろ いちばんゆうめい くつげん かん だんせつ
関する伝説が色々ありますが、一番有名なのは屈原に関する伝説で
くつげん ちゅうごくせんごくじだい きげんぜん せいき きげんぜん せいき そ
す。屈原は中国戦国時代(紀元前5世紀～紀元前3世紀)、楚という
くに せいじか ゆうめい しじん ひとびと しじ あつ ちい
国の政治家、有名な詩人です。人々の支持を集めていましたが、地位
うしな ついほう くに しんばい そ しょうらい ぜつぼう かわ
を失い、追放されました。国を心配し、楚の将来に絶望して川に
みな じさつ ひ きゅうれき がついつか くつげん
身投げしました。この自殺した日が旧暦の5月5日であったことから屈原
やす ねむ ねが たんごせつ
の安らかな眠りを願う端午節ができました。

たんごせつ ちゅうごくかくち さまざま ぎょうじ おこな なか りゅう
端午節には中国各地で様々な行事が行われます。その中で、龍

しゅうきょうそう ちまき たんごせつ たいせつ しゅうかん りゅう
舟 競争と粽を食べることは、端午節に大切な習慣です。龍
しゅう ちまき くつげん はじ ふうしゅう
舟も粽も、屈原を始まりとする風習とされます。

でんせつ くつげん な あと ひとびと くつげん いたい さかな た
伝説によると、屈原が亡くなった後、人々は屈原の遺体が魚に食
べられないように舟で川に出て、太鼓を叩くなど大きな音を立てて
さかな お はら がいつか ふね だ くつげん おも
魚を追い払いました。それから、5月5日に舟を出して屈原に思

よ しゅうかん りゅうしゅうきょうそう
いを寄せる習慣から龍舟競争へ

はってん おお おと
と発展していきました。また、大きな音
た さかな お はら どうじ さかな
を立てて魚を追い払ったと同時に魚
くうふく かわ にぎ はん
が空腹にならないように川に握りご飯
な ちまき た
を投げたということから、粽を食べる
しゅうかん はじ
習慣の始まりとなりました。



りゅうしゅうきょうそう たんごせつ いちばんたいせつ いべんと
龍舟競争は端午節で一番大切なイベントです。

りゅうしゅう ほそなが かたち りゅう あたま お かざ てこ ふね
龍舟とは細長い形で龍の頭と尾を飾った手漕ぎ舟です。



いっばんてき めーとる にん こ きょうそう とき たいこ
一般的に20~30メートルで、30~60人で漕ぎます。競争の時、太鼓
おと あ ちーむめんばー ふね こ ゆうしょうちーむ こううん
の音に合わせてチームメンバーは舟を漕ぎ、優勝チームは幸運に
しあわ せいかつ い いま こくさい
なり、幸せな生活ができると言われているそうです。今は国際
たいかい ひら すぼーつきょうぎ
大会も開かれているスポーツ競技です。

ちまき たんごせつ た でんとうてき た もの みず ひた こめ
 粽は端午節で食べられる伝統的な食べ物です。水に浸したもち米
 たけ は つつ ゆ む た ちゅうごく ちほう
 を竹の葉で包み、茹でたり蒸したりして食べます。中国では地方
 ちまき あじ ちが きた ちいき ごめ
 によって、粽の味も違います。北の地域では、もち米だけか、な
 い しゅりゅう た さとう た
 つめを入れるのが主流です。食べる時、砂糖につけて食べます。
 みなみ ちいき あじつ にく は む たまご い しおから
 南の地域では、味付けしたお肉やハム、卵などを入れて塩辛い
 ちまき この にほん ちゅうかちまき にくちまき おお
 粽が好まれます。日本では、「中華粽」というのは「肉粽」が多
 ねんあま れきし も ちゅうごく たんごせつ ねん
 いです。2000年余りの歴史を持った中国の端午節は、2009年に
 ゆ ね す こ せかいむけいぶんかいさん とうろく
 ユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。

にほん ふる しりょう たんごせつ へいあんじだい ねん ねん
 日本の古い資料によると、端午節が平安時代（794年～1185年）に
 ちゅうごく にほん つた たんご せつく よ
 中国から日本に伝わっていたそうです。「端午の節句」と呼ばれ、
 おとこ こ すこ せいちょう いの ぎょうじ ていちゃく
 男の子の健やかな成長を祈る行事として定着していきました。
 いま まいとし がついつか こくみん しゅくじつ ひ
 今では毎年の5月5日は国民の祝日「こどもの日」になっています。
 おとこ こ かてい こい た
 男の子のいる家庭は鯉のぼりを立て
 おとこ こ こんなん の こ しゅつせ
 て、男の子が困難を乗り越え、出世す
 いの こい まつ
 ることを祈ります。鯉のぼりのお祭りも
 いろ おお こい
 あります。色とりどりの多くの鯉のぼり
 そら ま うつく こうけい にほんどくとく
 が空を舞う美しい光景は日本独特の
 ふうけい
 風景です。



じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

ぶんかこうりゅう じょうほう こ な りょう <文化交流ひろば情報コーナーをご利用ください>

にほんごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう
日本語学習の情報や外国人のための生活情報などを多言語により提供します。

ぼしよ ねりまくひかり おか
【場所】 練馬区光が丘3-1-1

でんわ
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゆく ごご じ じ
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ
※年末年始など「文化交流ひろば」休館日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

たげんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

がいこくごそうだんまどぐち りょう <外国語相談窓口をご利用ください>

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご たがるごご にほんご
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でいろ
ろな相談ができます。電話での相談も受け付けます。

ぼしよ ちいきしんこうか くやくしよほんちようしゃ かい ねりまくとよたまきた
【場所】 地域振興課（区役所本庁舎9階） 練馬区豊玉北6-12-1

でんわ
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん たがるごご げつ
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

たげんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

にほんじん がいこくじん こうりゅう いべんと かいさい くわ <日本人と外国人が交流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら>

くこうしき
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

こーど
【QRコード】



ねりまくちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり
練馬区地域振興課事業推進係

〒176-8501

ねりまくとよたまきた
練馬区豊玉北6-12-1

ねりまくやくしよほんちようしゃ かい
練馬区役所本庁舎9階

でんわ
電話03（5984）4333

e-mail:CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう
編集：文化交流ひろば

ひかり おか
（光が丘3-1-1）

たげんごじょうほうしえんいん
多言語情報支援員

さとう ゆきえ ちゅうごくごたんとう
佐藤 雪恵（中国語担当）

そ きすく かんこくごたんとう
徐 基淑（韓国語担当）

にしうら じゅんこ えいごたんとう
西浦 潤子（英語担当）

Tango-setsu Festival

Spring is over and summer has arrived. In summer, China celebrates one of their most important holidays. It is the "Tango-setsu Festival" which is set on May 5 of the lunar calendar each year. Along with Chinese New Year and Mid-Autumn Festival, it is considered one of the three major traditional Chinese festivals. Tango-setsu Festival, also known as "Taiyo-setsu" (Danyang Festival), "Gojitsu-setsu" (Noon Day Festival), or "Ka-setsu" (Summer Festival), has been valued as a summer festival to ward off disease and evil spirits. There are many legends about Tango-setsu. The most famous one is about Kutsugen. Kutsugen was a famous poet and politician in the Chinese Warring States period (5th century B.C. - 3rd century B.C.) in a country called Chu. Despite having the support of the people, he lost his position and was exiled. He was worried about his country and threw himself into the river in despair over the future of Chu. The day he committed suicide fell on May 5 of the lunar calendar which led to the creation of the Tango-setsu to pray for a peaceful sleep for Kutsugen.

Various events are held in many places in China during Tango-setsu. Among them, a dragon boat festival and eating “Chimaki” (rice dumplings) are the important customs for Tango-setsu. Both dragon boats and “Chimaki” (dumplings) are said to have originated in Kutsugen.



According to the legend, after Kutsugen passed away, people went out to the river in a boat and beat drums and made loud noises to chase away fish to prevent them from eating Kutsugen's body. Then it evolved into the dragon boat race on May 5 from the custom of sending out boats to give thoughts to Kutsugen. The custom of eating chimaki also began when people threw rice balls into the river to feed the fish that had been scared away by the loud noises.

The dragon boat race is the most important event of Tango-setsu. The boat is a rowing boat with an elongated shape and decorated with a dragon's head and tail. The boat is generally 20 to 30 meters long and rowed by 30 to 60 people. During the competition, the team members row their boat to the beat of the drums, it is said that the winners will be lucky and live happily ever after. Nowadays, international competitions are hosted as athletic sports.



“Chimaki” (rice dumplings) is a traditional food eaten during Tango-setsu. We eat chimaki, in which glutinous rice soaked in water is wrapped in bamboo leaves and boiled or steamed.

In China, the taste of chimaki varies depending on the regions. In northern regions, using glutinous rice alone or “natsume” (Chinese dates) is the standard. When eating, they coat them with sugar. In southern regions, salty chimaki with seasoned meat, ham, eggs, and other ingredients is preferred. “Chinese chimaki” means “meat chimaki dumplings” in Japan.

According to old Japanese sources, Tango-setsu was introduced to Japan from China during the Heian period (794-1185). It was called “Tango-no-sekku”(Boy’s Festival) and was a well-established event to pray for the healthy growth of boys. It is now “Kodomo-no-hi” (Children’s Day), a national holiday on May 5 every year. Families with boys put up “Koinobori” (carp streamers) and pray that the boys will overcome difficulties and get ahead in life. There is also a carp streamer festival. The beautiful sight of many colorful carp streamers flying in the sky is a uniquely Japanese scene.



Information from Nerima City Regional Promotion Section

<Welcome to Information Desk at Cultural Exchange Square>

We provide all sorts of useful information in some languages for your daily life, including Japanese language classes and so on.

【Venue】 3-1-1、Hikarigaoka, Nerima City

【Telephone number】 03-3975-1252

【Open】 Weekday 10:00a.m.-1:00p.m.

Saturday, Sunday, holidays 1:00-4:00p.m.

※Closed: When Culture Exchange Square is closed, and the end of year and new year holidays.

【Languages】 English : Tue. Thu. Sat. Chinese: Wed. Fri. Sun.

Korean : Mon. ※Please make inquiries for other languages.

<Please visit the Information Desk at Nerima City Office>

Counseling service in English, Chinese, Korean, Tagalog and Japanese is available at Nerima City Regional Promotion Section. Counseling on phone is also available.

【Venue】 Regional Promotion Office, 9th floor of Nerima City Main Building
6-12-1, Toyotamakita, Nerima City

【Telephone Number】 03-5984-4333

【Open】 1:00p.m.-5:00p.m.

【Languages】 English : Mon.~Fri. Chinese : Mon.~Fri.

Korean : Fri. Tagalog : Mon.

※For other languages, please make inquiries.

We hold events where Japanese and foreigners can interact with each other.

For more information

【Nerima City Official HP】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



Nerima City Office
Regional Promotion Section
〒176-8501 6-12-1, ToyotamaKita,
Nerima, 9th floor,
Nerima City Main Building
Phone: 03-5984-4333
Email: CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

Edited by Nerima Cultural
Exchange Square
(Hikarigaoka3-1-1)
Staff: Junko Nishiura (English)
Yukie Sato (Chinese)
Seo Kisook (Korean)

2024 年夏季号

多言语情报支援员（中国语担当）

佐藤雪惠

端午节

春去夏来。在中国，入夏天后就迎来了一个重要的节日，端午节。端午节定于每年阴历的 5 月初 5。与春节，中秋节并称为中国三大传统节日。端午节，也被称为端阳节，午日节，夏节，从古至今作为消除疫病，驱赶厄运的夏季节日受到重视。关于端午节有很多传说，其中最为人所知的是关于屈原的传说。屈原是中国春秋战国时代（公元前 770 年--公元前 221 年），楚国的政治家、著名诗人。虽然受到百姓的支持，却被奸人陷害，遭到流放。屈原为国担忧，对楚国的未来感到绝望而跳河身亡。屈原自杀的这天正是阴历的 5 月初 5，祈祷屈原安息，端午节由此产生。

在端午节这天，中国各地会举办各种各样的祭祀活动。其中赛龙舟和吃

粽子是最重要的习惯。龙舟和粽子的风俗也是起源于屈原。传说屈原死后，人们为了不让他的尸体被鱼吃掉，划船来到河中，击鼓发出大的声音将鱼群驱走。于是5月5日划船思念屈原的习惯，发展成了赛龙舟。另外，击鼓驱走鱼群的同时，为了不让鱼群空腹，向河里扔饭团，开始了吃粽子的习惯。



赛龙舟是端午节最重要的祭奠活动。所谓龙舟，就是装饰着龙头和龙尾的细长型的手划船。一般大约20、30米长，30--60人划船。竞赛时，和着太鼓的节奏，队员一起划船，据说优胜者会有好运，生活幸福。现在已经成为国际大会的比赛项目。



粽子是在端午节吃的传统食物。将水泡过的糯米用竹叶包上，蒸或者水煮着吃。在中国，地区不同，粽子的味道也不同。北方大多是只用糯米，或者加入大枣，蘸糖吃。南方喜欢放肉或者火腿，鸡蛋等的咸味粽子。在日本，【中华粽子】多是指【肉粽子】。拥有2000余年历史的端午节，2009年被国际联合教育科学文化机关认定为世界无形文化遗产。

据日本古代资料记载，端午节在平安时代（794年—1192年）由中国传入日本。被称为【端午の節句】，作为祝福男孩子健康成长的节日。

现在，每年的5月5日成为国民的节日【儿童节】。有男孩子的家庭会挂上鲤鱼旗，希望男孩子战胜困难，早日事业有成。有的地方还有鲤鱼旗的庆典活动。色彩鲜艳，漫天飞舞的鲤鱼旗也是日本独特的美丽的风景。



事业推进系通知

<请利用文化交流广场信息角>

用多种语言为外国人提供学习日语和生活信息

【地址】练马区光丘 3-1-1

【电话】03-3975-1252

【开设时间】平日的上午 10 点~下午 1 点

星期六 日 假日的下午 1 点~4 点 年末年始文化广场休馆

【对应语言】英语：星期二 星期四 星期六

中文：星期三 星期五 星期六

韩国语：星期一

※其他语言请先与我们联系

<外语咨询窗口为您服务>

地域振兴课事业推进系可以用英语、中文、韩语、菲律宾语、日语为您提供咨询服务，并接受电话咨询。

【地址】地域振兴课（练马区役所本厅 9 楼） 练马区丰玉北 6-12-1

【电话】03-5984-4333

【开设时间】平日下午 1 点~5 点

【对应语言】英语：星期一~星期五 中文：星期一~星期五

韩语：星期五

菲律宾语：星期一

※ 其他语言请先与我们联系

<日本人与外国人定期举办交流会 详情请见下>

【区公式 HP】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



练马区地域振兴课事业推进系

〒176-8501 练马区丰玉北 6-12-1

练马区役所本厅 9 楼

电话:03 (5984) 4333

e-mail:CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

编辑：文化交流广场

（光丘 3-1-1）

多语言情报支援员

佐藤 雪惠（中国语担当）

徐 基淑（韩国语担当）

西浦 润子（英语担当）

네리마 통신

2024 년 여름호

다언어정보지원인(중국어 담당)

사토 유키코

단오절

봄이 끝나고 여름이 왔습니다. 중국에서는 여름이 될 때 가장 중요한 축일을 맞이합니다. 그것은 단오절입니다. 매년 음력 5 월 5 일로 정하고 있습니다. 설날 (구정) , 중추절 (추석) 과 함께 중국의 3 대 전통 절구로 되어 있습니다. 단오절은 단양절, 오일절 (노동절) , 여름 축제 (징따오 맥주 축제) 등이라고도 불리웁니다. 역병 퇴치나 액막이를 위한 가장 유명한 것은 굴원 (屈原) 에 관한 전설입니다. 여름의 절구로서 중요시 되어 왔습니다. 단오절에 관한 전설이 여러 가지 있습니다. 가장 유명한 것은 굴원에 관한 전설입니다. 굴원은 중국전국시대(기원전 5 세기~기원전 3 세기) 초라는 나라의 정치가, 유명한 시인입니다. 사람들의 지지를 모으고 있었지만, 지위를 잃고 추방 되었습니다. 나라에 대해 걱정하고 초의 미래에 대한 절망으로 강에 몸을 던졌습니다. 이 자살한 날이 음력의 5 월 5 일이었던 것으로부터 굴원의 편안한 잠을 바라는 단오절이 생겼습니다.

단오절에 중국 각지에서 여러가지 행사가 행해집니다. 그 중에서 용주경쟁 (용배 경쟁) 과 치마키(대나무잎에 싼 찹쌀밥)를 먹는 것은 단오절에 중요한 습관입니다. 용주경쟁과 치마키는 굴원으로부터 시작된



풍습입니다. 전설에 의하면 굴원이 죽은 후, 사람들은 굴원의 시신이 물고기에 먹히지 않도록 배로 강에 나와 북을 두드리는 등 큰 소리를 내고 물고기를 쫓아 내었습니다. 이로 인해 5 월 5 일에 배를 띄어 굴원에 마음을 전하는 습관으로 부터 용주 경쟁으로 발전해 왔습니다. 또한 큰 소리를 내고 물고기를 쫓아내는 것과 동시에 물고기가 배고프지 않도록 강에 주먹 밥을 던졌다는 것으로부터 치마키를 먹는 습관이 시작이 되었습니다.



용주경쟁은 단오절에서 가장 중요한 이벤트입니다. 용주경쟁에 쓰이는 용배 (龍舟) 는 가늘고 긴 형태로 용의 머리와 꼬리를 장식한 손젓기 (노젓기) 배입니다. 일반적으로 20~30 미터이며, 30~60 명이 젓습니다. 경쟁 때 북의 소리에 맞추어 팀 멤버는 배를 젓고, 우승팀은 운이 좋고, 행복한 생활을 할 수 있다고 합니다. 지금은 국제 대회도 열리고 있는 스포츠 경기입니다.

치마키를 먹는 것은 전통적인 음식입니다. 물에 불린 찹쌀을

대나무 잎으로 감싸 삶거나 찌서 먹습니다. 중국에서는 지방에 따라 치마키의 맛도 다릅니다. 북쪽 지역에서는 찹쌀만이나, 대추를 넣는 것이 주류입니다. 먹을 때 설탕에 찍어 먹습니다. 남쪽 지역에서는 양념한 고기볶음, 햄, 달걀 등을 넣고 찐 치마키를 선호합니다. 일본에서「중화 치마키」라고 하는 것은 「고기볶음 치마키」가 많습니다. 2000 년여의 역사를 가진 중국의 단오절은 2009 년 유네스코 세계 무형 문화 유산으로 등록 되었습니다.

일본의 오래된 자료에 따르면 단오절이 헤이안 시대(794 년~1185 년)에 중국에서 일본에 건너 왔다고 합니다. 「단오의 절구」라고 불리며, 남자아이의 건강한 성장을 기원하는 행사로 정착 했습니다. 지금은 매년 5 월 5 일에 국민의 공휴일 「어린이의 날」이 되어 있습니다. 남자 아이가 있는 가정은 고이노보리(잉어깃발)을 세워 남자아이의 어려움을 극복하고 출세하기를 기도합니다. 고이 노보리의 축제도 있습니다. 여러 가지 빛깔의 고이 노보리의 하늘을 날리는 아름다운 광경은 일본만의 독특한 풍경입니다.



사업추진계에서 알림

<문화교류광장 정보코너를 이용해 주십시오>

일본어 학습정보와 외국인을 위한 생활 정보 등을 다국어로 제공합니다.

【장소】 네리마구 히카리가오카 3 - 1 - 1

【전화】 03 - 3975 - 1252

【개설시기】 평일은 오전 10시~오후 1시

토·일·축일은 오후 1시~ 4시

※연말연시 등 「문화교류광장」 휴관일은 제외

【대응언어】 영어 : 화·목·토 중국어 : 수·금·일 한국어 : 월

※그 외의 언어는 문의해 주십시오

<외국어 상담창구를 이용해 주세요>

지역진흥과 사업추진계에서는 영어·중국어·한국어·타갈로그어·일본어로 여러 가지 상담이 가능합니다. 전화로도 상담을 받고 있습니다.

【장소】지역진흥과 (구청 본청사 9층) 네리마구 토요타마키타 6 - 12 - 1

【전화】 03 - 5984 - 4333

【개설일시】평일 오후 1시 ~ 5시

【대응언어】 영어 : 월~금 중국어 : 월~금 한국어 : 금 타갈로그어 : 월

※그 외의 언어는 문의해 주세요.

일본인과 외국인이 교류할 수 있는 이벤트 등을 개최하고 있습니다. 상세한 내용은 여기로

【구공식 홈페이지】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



네리마구지역진흥과 사업추진계

〒176 - 8501

네리마구 토요타마키타 6 - 12 - 1

네리마구청 본청사 9층

전화 03 (5984) 4333

e-mail:CHIKI17@city.nerima.tokyo.jp

편집:문화교류 광장

(히카리가오카 3 - 1 - 1)

다언어정보지원인

서 기숙 (한국어 담당)

사토 유키코 (중국어 담당)

니시우라준코 (영어 담당)